

1・2年生の皆さん、保護者の皆様、今年度進路指導を担当している、3学年副担任の宮内雅弘です。1・2年生の皆さんは、この進路だよりを学級掲示物で、もしくは昇降口掲示板に貼ってある進路だよりを見たことがある人もいるかと思います。3年生にご兄弟がいるご家庭の保護者の方はこの進路だよりをご覧になっていることと思います。今まで第45号まで発行し、その配布対象は3年生およびその保護者でしたが、今回は1・2年生およびその保護者の方を対象に本通信を発行致しました。保護者の皆様におかれましては、お子さんの来年、再来年の進路について「まだ先のこと」と思わずに今のうちから真剣に考え、お子様と機会を設けて進路についての雑談をしていってほしいと思います。

さて、今年度の3年生も3月12日に卒業し、この学び舎を巣立っていきました。その彼らの姿や、私がここまで様々な受験生を見てきて感じたこと、気づいたこと、思うところを幾つか挙げさせていただきます。

1. どうしてその高校へ行きたいのですか？→その理由をはっきりと言えますか？

いわゆる「志望動機」と呼ばれるものですが、これがない人やあやふやな人は高校側も「ん？」となってしまいます。将来なりたいものも含めどれだけ自分の「進路」について考えているかが問われます。「家から近いから」「親に勧められたから」もそうですが、「ただなんとなく」という安易な発想は絶対にいけません。最終的には家庭内で相談の上お子さんが決めることですので、ご家庭でも適切なお助言をお願いします。

2. 高校とは何をしに行くところですか？→学習することが学生の本分です！

当たり前ですが「勉強をしに行くところ」です。たとえ部活動推薦で入っても勉強はしなければいけません。生徒の皆さんは「お金を払って」勉強を教えてもらう（塾と一緒にですね）のですから遊びではありません。また、高校側からは、生活素行が良くない場合には停学・退学という処分もあります。テストで赤点（高校で決めた単位認定の基準点未満の点数）ばかりとっていると留年（進級できない）という措置もとられます。高校への進学はあくまでも「自由」ですし行きたいと思わない人は就職するという選択肢もありますが、いずれにせよ今の中学生の時期に「勉強に対する耐性（耐えられる力）」を身に付けておかなければいけません。

3. 日常生活はしっかりできていますか？→生活面こそ高校側が注目しているところです！

特に推薦入試（高専・私立・県立の特色選抜）を受験したいと考えている人の中で、日常生活面で不安をおぼえる人もいます。欠席日数が多い、登校時間を守れない、服装髪型といった身だしなみに気が回らない、挨拶返事ができない・声が小さい・聞こえない、日常的な提出物がきちんと出せない、忘れ物が多い、学級内での係活動などを怠ける、学級のことに無関心・非協力的である、といった人は出願しても厳しい状況です。高校側に中学校3年間の取り組み実績を調査書という書類で、あるいは面接という形でアピールしなければいけませんので、日頃から生活面で「今出来ていることを今後も継続」し「まだ出来ていないところをこれからしっかりと出来るようにする」ようにしてほしいと思います。

4. 勉強する習慣が身についていますか？→我々は学習と一生付き合っていくのです！

令和元年度からは県立高校の新入試制度が実施され、来年度以降も3月上旬に前期試験（特色選抜と一般選抜）、その結果を受けて中旬に後期試験が実施されます。一番の特徴は、全ての日程が3月に入ってから実施されることと、前期選抜全てに学力試験が行われることです。面接・小論文・実技試験だけではなく、それに加えて学力試験も課せられます。ということは、たとえ部活動で顕著な実績（中体連やコンクール等で上位入賞をした、など）をもっている、勉強をする習慣がしっかりと身につけていない人は前期選抜（特色選抜）で対応できないということになります。

どうでしょうか？上記4つについて、これからの進路決定に向けてお子さんとぜひ話してみてください。